



チャレンジ精神と確かな技術で顧客の信頼を獲得

不可能も可能にする 金型製作のエキスパート



製品情報

プラスチック射出成形金型によりつくられたプラスチック成形品

代表からひとこと

代表取締役 藤川 勇 Yuu Fujikawa



創業以来、車カメラをはじめ電子部品・医療・理化学・文具等のプラスチック射出成形金型の製作を手掛けてきました。ものづくりがグローバル化した今、お客様のニーズにお応えするために、お困りごとの解消に力をお付けたいと考えています。また、お客様とのコラボにも力を注いでおり、既に市場に投入し高評価を得ています。今後、更に産学官連携も深め、日本のものづくりで、緑の下を力持ちになれるよう日々邁進しております。

他社メーカーが断った金型を製作中！

豊洋エンジニアリング株式会社は、プラスチック射出成形で使用する金型の製作メーカーです。製作した金型は、医療・理化学関係をはじめ、カメラ、電子部品、自動車関係、文具など幅広い分野で活用されています。

豊洋エンジニアリングではチャレンジ精神を大切にしています。その精神と実績から、顧客からは「豊洋に頼めばなんとかしてくれるのではないかな」という信頼を獲得しています。例えば、現在、他社メーカーが「製作出来ない」と断った金型を製作しています。その金型は、製品設計上、樹脂が充填しない、インサート部品のバラツキの対応が困難など、樹脂や金型構造を含めた総合的な問題が多くあります。相談を持ちかけられたとき、藤川勇社長は「なんとかできるかもしれない」と早速打ち合わせに乗り出し、試作型を製作。確かに難しい内容でしたが、チャレンジ精神に火が点きました。緻密な打ち合わせを行ない、不良原因を追究し確実な修正を行なうことにより、課題を解決し、現在は最終製品に向けた性能試験を行っています。他社が出来ないといわれた金型を完成させる事ができれば自信につながり、豊洋エンジニアリングのブランドを高めることにもつながると期待しています。

そのような技術力を持つ豊洋エンジニアリングですが、10数年前、外形が5mmのメスネジが出来るかとの相談を受けました。このメスネジは通常の構造の回転ではできないものでした。また、その当時の専門誌には日本

豊洋エンジニアリング株式会社

| | |
|-------|--------------------------------|
| 社 歴 | 1993年 福岡県遠賀郡芦屋町 本社設立。 |
| | 1999年 自社工場及び事務所を福岡県遠賀郡遠賀町に新設。 |
| | 2002年 代表取締役 藤川 勇 就任。 |
| 所 在 地 | 〒811-4341 福岡県遠賀郡遠賀町大字泉津 2752-1 |
| 代 表 者 | 代表取締役 藤川 勇 |
| 従業員数 | 19人 |
| 事業内容 | 一般機械 |
| 設 立 年 | 1993年 |

携帯電話・スマートフォンでご覧いただけます！

企業紹介ムービーはこちら



企業サイトはこちら



で最小のアンダーカット（ネジ）処理は10mmとありました。その為、独自で考察し諦めず思考錯誤した結果、何とか納期ギリギリに完成。その実績は口コミで顧客へ広がりました。

『社内木鶏会』で活気ある社風づくりを目指す

顧客ニーズに合わせた金型を製作するため、豊洋エンジニアリングでは社員からアイデアを募ります。その際に気軽に意見を言い合えるような社風づくりを目指して、社内教育として2016年9月から致知出版社主催の『社内木鶏会』を始めました。回数を重ねるにつれ、硬い表情だった社員が笑顔になったり、うまく話ができないと尻込みする工場の社員が参加者の前で話ができるようになったりなど、その成果は少しずつ見えてきています。創業時に掲げられた「社員一人ひとりの個性が発揮される、やる気と個性のあふれる会社」にも近づいていっています。